

第133回  
理事会

# 令和6年度国の予算・制度等に関する要望を審議

東京ビル政連は9月5日、ビルメンテナンス会館で「第133回理事会」を開催し、「令和6年度国の予算・制度等に関する要望」について審議した。

今年度は異例な暑さが続いていることから、梶山龍誠理事長は冒頭挨拶で、「8月も終わりましたが、まだ残暑が厳しい状況でございます。皆様体調管理には十分お気を付け



冒頭あいさつを述べる梶山理事長



議長を務めた野口副理事長



審議事項を説明する横田幹事長

「ください」と注意を喚起したあと、第69回全国ビルメンテナンス政治連盟評議員会に言及。「本日の報告事項にもありますが、8月22日に全政連の評議員会が行われ、役員改選がありました。その後の臨時理事会において、私が全政連の理事長を拝命し、併せて当政連の榎本副理事長が、全政連でも副理事長に就任いたしました。これからは、今ま

以上で当政連と全政連が連携をとり、業界の課題解決のために活動したく存じます。よろしくお願ひ申し上げます」と抱負を語った。



上半期の収支を報告する坂野会計責任者



監査報告を行う大村監事



全政連評議員会の報告を行う松井理事

議案の令和6年度国の予算・制度等に関する要望についての提案説明は、横田英雄幹事長が担当。「毎年、自民党東京都連に提出してあります国要望望についてご提案いたします。なお、本要望は10月4日のヒアリングにて提出する予定ですが、先方から人

格による契約については「昨年11月の総務省・厚労省の通知や令和5年度の建築保全業務労働単価の見直しなどをと、建築保全業務労働単価の活用徹底とスライド適用等の制度改正を要望」、「(2)厚生労働省による調査と公表の継続について」では「毎年度の調査・公表を要望」、「(3)エコチューニング認定制度の促進について」では「今年2月の閣議決定をもとに基本方針の徹底を要望」、「(4)全首庁統一資格付与点数表の見直しについて」は「継続要望」、「(5)入札参加資格の運用徹底について」は「新たな要望項目で

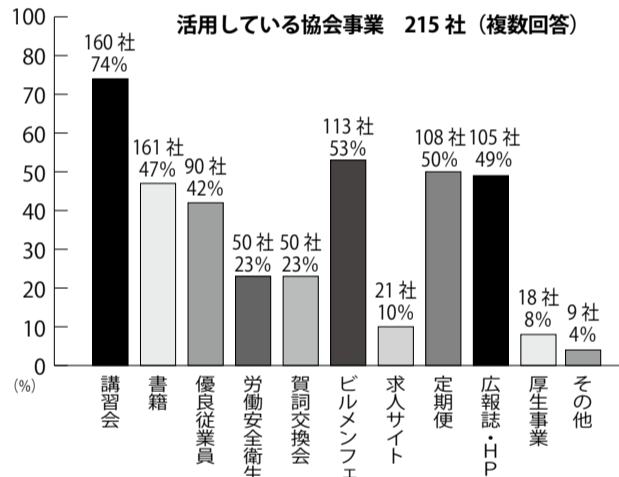


理事会の様子



報告事項を行う高橋事務局長

## 東京協会「会員概況」アンケート 最終回 協会事業について 講習会・セミナーの活用がトップ



(公社)東京ビルメンテナンス協会が、会員各社の雇用状況や経営・資格に関する状況を把握するため実施したアンケート調査結果の最終回は、「協会事業に

東京協会では、講習会・セミナー、ビルメンフェア、定期便など、各種の事業を推進しているが、会員が一番活用しているのは、講習会・セミナーで160社(74%)であった。続いて、ビルメンフェア113社(53%)、定期便108社(50%)、広報誌・HP105社(49%)の順。

自由記述による東京協会への期待・希望については、以下のような意見が寄せられた。

また、会員の求人掲載は無料で、Indeedと連携、アイデムのフォローアップといったメリットがある求人サイト「東京ビルメンお仕事さがし」を活用している会員は、わずか21社(10%)という結果となった。東京協会では、周知不足を反省して「今後一層の周知活動が必須」と結論付けた。

大項目「3 その他の制度改正」では「最低賃金の引き上げへの対応の項目は、大項目1と重なる内容ですので削除いたしました。その他、大きな変更はございません」と述べて審議を求めた。

す。全国の裁判所の入札案件において特記事項を設け、入札の競争性を担保できない入札参加資格が設けられたケースがありましたので、適切な競争入札を実施するために運用ルールの徹底を要望します」と説明。

- 経営関係
  - ・協業や協会内での業務受発注支援の輪
  - ・協会全体の雇用の安定と受注金額の向上による社員の収入向上
- 資格関係
  - ・特定技能の国外試験の再開と推進による優秀な海外人材の受け入れ拡大
  - ・協会の資格を外国人でも取れるように英語対応を希望
  - ・設備関係資格の国際間相互認証の動きの調査
- 経費関係
  - ・協会や協会内での業務受発注支援の輪
  - ・協会全体の雇用の安定と受注金額の向上による社員の収入向上

- 講習会関係
  - ・講習会の積極的な開催(資格取得講習会、異業種の方の講習拡充等)
  - ・オンデマンド研修の拡充
- 調査関係
  - ・ビルメン業の調査報告書など、データ提供や制度改正に関する情報提供
- その他
  - ・警備業界を巻き込んだ協会の発展
  - ・講習や訓練スペースのレンタル(小規模・中小向け)

大項目「3 その他の制度改正」では「最低賃金の引き上げへの対応の項目は、大項目1と重なる内容ですので削除いたしました。その他、大きな変更はございません」と述べて審議を求めた。

報告事項は4つ。「令和5年上半期の収支について」は、坂野正和会計責任者が「万円単位」で各項目の詳細を挙げたあと、「収入690万円に、前年からの繰越額1784万円を加え、収入総額は2474万円。支出は398万円で、当期収支差額は293万円のプラスとなり、下半期へ2077万円を繰り越すことになりました」と報告。続いて、大村清保監事が「決算報告書は、会計帳簿の記載金額と一致し、当政連盟の財政状況を正しく示している」「理事の職務執行に関する不正の行為及び法令等に違反する事実はなく、適正に運営している」と監査報告。

アンケート調査結果は、今後の協会事業の企画・運営や、東京都への要望活動に活用されている。

業界の地位向上、労働者数の増加(人材の確保、学生へのPR等)  
・有資格者(ビル管、電検保有者)の紹介  
・公費の値下げ

8月22日に浅草ビューホテルで開催された「第69回全政連評議員会」に関しては、松井奈美全政連評議員が、分担金の見直し、規約細則の一部改正、任期満了に伴う役員選任、全政連執行体制について報告。「7月理事会以降の動きと今後の予定」と「会員等の推移」は、高橋誠事務局長が説明を行った。

8月22日に浅草ビューホテルで開催された「第69回全政連評議員会」に関しては、松井奈美全政連評議員が、分担金の見直し、規約細則の一部改正、任期満了に伴う役員選任、全政連執行体制について報告。「7月理事会以降の動きと今後の予定」と「会員等の推移」は、高橋誠事務局長が説明を行った。